

新年度予算 総額75億3,978万円

やすらぎとuringおいのある まちづくりがスタート

町の予算のしくみ

町の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3つに分類することができます。
 一般会計は、町行政運営の根幹をなす会計で、福祉や教育、建設など町の事業の大部分をまかっています。
 特別会計は、特定の事業について一般会計とは切り離し、独立した経理で行う予算で、町では、国民健康保険事業特別会計など9つの特別会計がこれにあたります。
 企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、上水道事業会計となります。

16日町議会定例会が、3月5日から15日まで開かれ、平成19年度鏡石町一般会計予算を含める44議案が原案どおり可決されました。平成19年度は大変厳しい状況での予算編成となりました。第4次総合計画の後期のスタートとなる本年度は、これまで以上の行財政改革の推進が求められます。今月号では、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくり実現に向けた平成19年度当初予算について、一般会計を中心に特集します。

75億3,978万円の中身

75億3,978万円の予算総額で今年度の新しい町づくりがスタートしました。各会計の予算額は、一般会計が39億3,000万円、前年度対比3,000万円の減額、国民健康保険特別会計が12億9,371万円、前年度対比1億6,031万円の増額、老人保健特別会計が10億1,693万円、66万円の減額、となりました。企業会計の上水道事業会計は、3億8,247万円、前年度対比4,506万円の増額となりました。その他の会計の予算額、前年度の比較などは、各会計当初予算総括表のとおりです。

一般会計の歳入は、国の税源移譲により、個人町民税が伸びたため、町税が8,083万円の増額となりました。地方譲与税や地方交付税の減額が大きく、厳しい予算編成となりました。

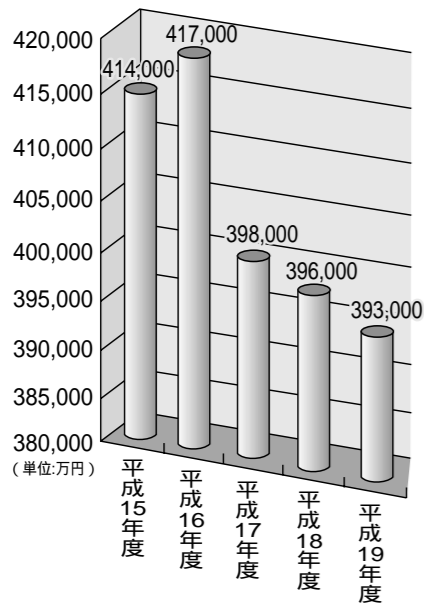
歳出は、子育て支援事業などに要する民生費が6,011万円の増額となりました。

第16回町議会定例会が、3月5日から15日まで開かれ、平成19年度鏡石町一般会計予算を含める44議案が原案どおり可決されました。平成19年度は大変厳しい状況での予算編成となりました。第4次総合計画の後期のスタートとなる本年度は、これまで以上の行財政改革の推進が求められます。今月号では、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくり実現に向けた平成19年度当初予算について、一般会計を中心に特集します。

75億3,978万円の中身

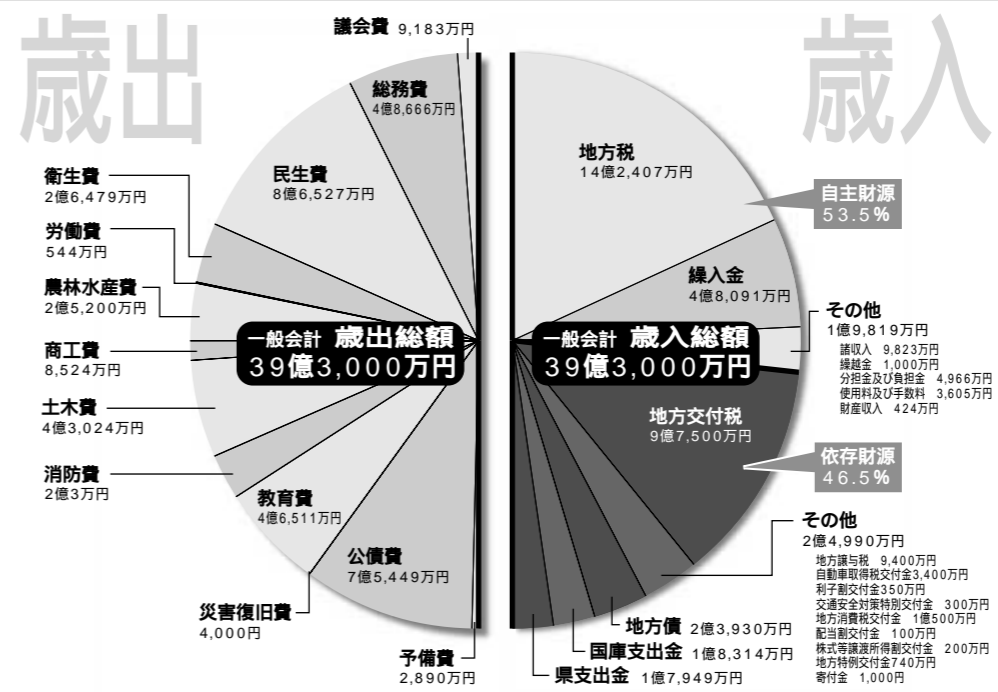
75億3,978万円の予算総額で今年度の新しい町づくりがスタートしました。各会計の予算額は、一般会計が39億3,000万円、前年度対比3,000万円の減額、国民健康保険特別会計が12億9,371万円、前年度対比1億6,031万円の増額、老人保健特別会計が10億1,693万円、66万円の減額、となりました。企業会計の上水道事業会計は、3億8,247万円、前年度対比4,506万円の増額となりました。その他の会計の予算額、前年度の比較などは、各会計当初予算総括表のとおりです。

過去5年間の推移



平成19年度各会計当初予算総括表

会計区分	本年度	昨年度	比較	増減率	
一般会計	39億3,000万円	39億6,000万円	-3,000万円	-0.8%	
国民健康保険特別会計	12億9,371万円	11億3,340万円	1億6,031万円	14.1%	
老人保健特別会計	10億1,693万円	10億1,759万円	-66万円	-0.1%	
介護保険特別会計	5億8,304万円	5億6,609万円	1,695万円	3.0%	
土地取得事業特別会計	304万円	5,553万円	-5,249万円	-94.5%	
工業団地事業特別会計	1億341万円	5,511万円	4,830万円	87.7%	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	6,578万円	2,681万円	3,897万円	145.3%	
公共下水道事業特別会計	4億6,800万円	4億8,100万円	-1,300万円	-2.7%	
農業集落排水事業特別会計	6,350万円	6,500万円	-150万円	-2.3%	
育英資金貸付費特別会計	1,237万円	1,308万円	-71万円	-5.4%	
小計	75億3,978万円	73億7,361万円	1億6,617万円	2.3%	
上水道事業会計	収益的	2億2,989万円	2億2,741万円	249万円	1.1%
	資本的	1億5,258万円	1億1,001万円	4,257万円	38.7%
	計	3億8,247万円	3億3,742万円	4,506万円	13.4%
合計	79億2,225万円	77億1,103万円	2億1,123万円	2.7%	



数値で見る 町の予算

合計画の確実かつ着実な推進を図るべく配慮したところであり、主なる事業については、スマートIC社会実験が採択されたことに伴い、恒久化に向けた道路整備事業などを計画したところであります。

本年は、町制施行45周年にあたることから、記念式典の開催、記念事業としたイベントの支援、海外文化学習事業の補助、児童手当支給額の拡充、介護予防と生活支援、健康増進計画を策定し健康増進に努め、やすらぎとuringおいのあるまちづくりのための「フローラのまちづくり」などに取り組む予定であります。

第4次総合計画の後期のスタートの年次にあたることから、中間評価に基づき改定した基本計画と第2次行政改革大綱集中改革プランに基づき、一層の行財政改革を推進し、コンパクトなまちづくりを実践し、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを着実に進めるための所要の予算措置を行ったところであり、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

本年度の予算編成にあたり、第4次総合計画の基本理念である「共に生き 共につくる 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向け、5つの柱を基軸に、各種事業の重点的かつ効果的な配分に努めました。

町の財政運営にあたっては、各種施策の優先順位の選択を行い、財源の計画的・重点的な配分をして、経済動向に即応した機動的、弾力的な運営にも配慮いたしました。

歳入は、本年度は自主財源の確保が大変厳しく、将来の財政負担を考慮し、適正な起債枠を確保しながら、基金取り崩しなどの措置により財源を確保したところであります。

歳出は、徹底した事務事業の見直しをはじめ、第4次総



鏡石町長 木賊政雄

町長所信表明の あらまし